

〈5（2）運動部、文化部に分かれての協議（運動部）〉

（司会）

『どうすれば平日開催ができるか』という視点で、皆様からご意見をいただきたい。
本日配付した資料 10 ページの表を基に、『指導者』『送迎・移動』など、気になった点についてご意見をいただきたい。

（委員）

先行実施の結果を基に今後を考えていけるというのは、とてもよいことだと思う。また、保護者の生の声を聞くことができたことは、今後につながっていくのではないかと思った。
これまでは学校の立場として、会場や危機管理の面を中心に考えていたが、今回のアンケートでは、保護者から子どもたちの睡眠時間についての意見が出ていた。
毎日このような遅い時間に活動することは、子どもたちにとってかなり負担が大きいという意見もあり、改めて考えさせられた。
子どもたちが活動できる環境づくりを考える一方で、子どもたちの健康面についても十分配慮していかなければならないと感じた。

（委員）

まず、水曜日の平日開催ということでやはり活動時間がどうしても遅くなるという点については、生徒の日常生活が普段とは違うリズムになるため、体調管理が難しい部分もあるのかなと感じた。
それから、今回の卓球クラブについてだが、比較的早い段階から地域クラブづくりに取り組んでいた。地域クラブの立ち上げについても非常に早く取り組んでおり、今回、実証まで進められたことは、順調に進んできた結果だと思う。
もう一点、地域クラブ認定制度について伺いたい。
現在、この制度で認定されているクラブはあるのか。

（事務局）

まだこれからになる。今回、示したものは制度案という形。
一般的には、市町村が『認定するに相応しい基準を設定』し、それに合致していれば認定します、という内容。申請を受けて認定するという流れになる。
ただ、本市の場合は少し状況が異なる。
すでに教育委員会が支援しながら地域クラブを立ち上げてきており、実質的には認定する基準の下で活動している。
そのため、制度が先にあって、それに対して申請するという形ではなく、すでに認定制度に合致しているクラブという状況になる。
一方で、今後、新たに地域クラブを立ち上げ、認定を受けたいという団体が出てくる可能性もあるため、そのような場合に備えて、認定制度を整備しておく必要があると考えている。

先ほどの全体での説明が不十分だった。

(委員)

地域スポーツクラブとして認定されることによって、中体連の大会にも参加できるという内容もあるが、そのようなことも含めた制度という理解でよろしいか。

(事務局)

そのように考えている。

資料にも『認定の効果・メリット』として記載しているが、市が認定した地域クラブについては、現在の制度で「申請」を行い、中体連大会へ参加できるものと考えている。

(委員)

現在活動している地域クラブの中にはすでに市が支援し、そして申請し中体連大会にも参加できているので、この制度は新たに立ち上がるクラブを対象とした制度ということではよろしいか。

(委員)

そのように捉えている。現在、活動している地域クラブに対しての認定も必要だが、大きくは、新たに設立される地域クラブに対して、必要となる制度として整備を進めていきたいと考えている。

(司会)

どうすれば平日開催ができるかという視点でご意見をいただきたい。

認定された地域クラブも、いずれは平日開催を進めていくことになる。

保護者の立場から、平日の地域クラブ活動を進めていくために必要だと思われることについて考えを聞きたい。

(委員)

表にも書かれているとおりだと思うが、平日の早い時間帯に活動するのであれば、一番大きな課題は指導者の確保と生徒の送迎・移動だと思う。

指導してくださる方が確保できるのかということが課題。保護者も日中は仕事をしているので、早い時間帯に送迎するのは現実的になかなか難しいと思う。

遅い時間帯であれば対応できる方も増えるとは思いますが、その場合は睡眠時間など、別の課題も出てくるのではないかと思う。

また、行政の方でバスなど移動手段の確保について協力していただければ、少しは課題が緩和されるのかなと思う。

(司会)

保護者の中で、現在休日の地域クラブ活動に参加しているお子さんの保護者同士で、『平日はこれからどうなるのだろう』といった話題になることはあるか。

(委員)

うちの子どもは今、中学1年生だが、保護者同士で平日の地域クラブの活動について話をする機会はまだない。今のところは、あくまでも休日の活動についてという状況である。休日は地域クラブで活動しているため、自分が送迎をしている。

(司会)

今の話では、指導者や移動といったお話があった。資料にもそのような視点があり、今後重要な課題になってくると思う。その他の視点でも構わないので、平日開催を進めるためにはどうすればよいか、ご意見をいただきたい。

(委員)

私の方から、行政の立場で話したい。

先ほど生徒の健康管理について話があったが、仮に活動開始が19時頃になると、終了は21時頃になる。帰宅すれば21時半から22時頃になり、それから食事や勉強となると、毎日そのような生活を週4日続けるのは現実的に厳しいのではないかと考える。

そのため、平日の活動については、教育委員会として一定の指針を示す必要があると考えている。例えば、活動日数を週2日以内にするなど、負担軽減を図る方法も検討しているところである。

また、移動については、スクールバスの活用についても検討してきたが、競技ごとに活動開始時間が異なることや、活動場所が学校施設になる場合でも、それぞれ調整が必要になる。そのため、バスの運行や配車については、効率性も含めて大きな課題になると考えている。一方で、平日の地域クラブ活動に向けての準備は、今後進めていく必要があるとも考えている。

その際には、活動する子どもたち、保護者、指導者、運営団体、それぞれの競技団体が十分に話し合い、合意形成を図りながら進めていくことが重要だと思う。

教育委員会としては一定の指針を示す必要があるが、休日の地域クラブ展開を進めた時と同様に、保護者、指導者、地域クラブ運営団体との合意形成を図りながら進めていくことが現実的ではないかと思う。

委員の皆様には、それぞれのお立場やご経験を踏まえ、『このような方法があるのではないか』『こう工夫すればもっと進めやすいのではないか』というご意見をいただきたい。

(委員)

資料にもある内容だが、やはり学校の働き方改革との関係は考えていかなければならない。今のまま活動時間を延長するだけでは、結局、学校側の負担はあまり変わらないのではないかという気がする。

一方で、夜の時間帯に地域クラブとして活動する形にすれば、その点はある程度整理できるのではないかとも思う。

学校は学校としての役割があるし、学校の活動が終わった後は、地域クラブとして活動するという形にしていくことが必要ではないか。

そのあたりは、今後しっかり整理していく必要があると思う。

(司会)

学校と地域クラブの役割を整理するという視点は、大変重要だと思う。

やはり競技によっても状況は異なるのかなと感じている。

例えば野球については、休日の地域展開の後に平日へ移行すると考えた場合、競技人口が減少しており、平日に各学校で2〜3人ずつ練習するよりも、先ほど委員がおっしゃったように、一度学校が終わってから一か所に集まり、例えば19時から活動した方が、子どもたちにとってはより充実した練習ができるという考え方もあると思う。

活動時間について意見をいただいたが、他の意見があれば聞かせていただきたい。

(委員)

学校でも働き方改革を進める中で、教職員の勤務時間など、さまざまな工夫を行っている。そのような中で平日の地域クラブ活動へ移行するのであれば、学校としてもその役割をしっかりと整理していかなければならないと思う。

また、学校では現在でも突発的な対応が数多くあり、計画どおりに進まないこともある。そうした状況も踏まえながら、教職員の意識の転換も含めて考えていく必要があると思う。

(司会)

保護者の立場から見て、例えば卓球クラブのように19時開始の方が平日はやりやすいとか、逆にこういう課題があるのではないかなど、健康面も含めてご意見を伺いたい。

(委員)

時間が遅い方が、保護者としては時間を確保しやすいと思う。

仕事が終わって、ある程度家のことを済ませてから練習へ送り出せるので、その点ではやりやすいと思う。

保護者だけではなく、指導者も同じではないか。

ただ、野球のような屋外競技は、夜間に活動するための環境が整っていないと難しいと思う。
また、雨が急に降ってきた場合の施設の確保なども課題になると思う。
そうした環境を整えば実施できると思うが、そのためには施設や予算なども必要になってくると思う。

(委員)

一度学校から帰宅して、再び活動場所へ行くとなると、子どもたちの安全面など、心配なことが増えると思う。

学校で待機するのか、あるいは学校やその近くに子どもたちが過ごせる場所を設けるのか、そのような居場所づくりも必要になるかもしれない。

また、野球の場合は明るい時間帯でないと十分な活動が難しいという事情もある。

一方、バスケットボールなど屋内競技では、指導者が来るまで多少待ち時間があっても活動しやすい面もある。

競技によって課題はさまざまだと思う。

また、子どもたちの体調管理を考えると、あまり遅い時間まで活動することは、翌日の学校生活への影響もあるため十分な配慮が必要だと思う。

小学生と中学生では事情も異なると思うが、活動する曜日についても、例えば翌日が休日の日であれば多少遅くなっても影響は少ないのではないかなど、曜日の設定も含めて検討する必要があると思う。

(司会)

休日の地域展開ではあまり話題にならなかった子どもたちの体調管理という点が、平日開催では非常に重要になることがよく分かった。

そのためには、活動時間だけではなく、移動方法や学校との関わりなど、さまざまな課題が見えてきたと感じている。

その他にも、例えば保護者の理解をどのように得ていくかという点についても、ご意見をいただきたい。

平日に活動を行うことについて保護者の皆さんに理解していただくためには、どのような方法が考えられるか。

直接、保護者に説明することが望ましいとは思いますが、何度も保護者の皆さんに集まっていただくことも難しい面がある。

その点も含めて、ご意見をいただきたい。

(委員)

もし早い時間帯での活動となれば、送迎が必要になってくると思う。

(委員)

例えば、北中学校の生徒が市の陸上競技場で 16 時半から練習するとなると、どうやって会場まで連れて行くのかという話になる。

19 時開始であれば、保護者が仕事を終えて送迎できる可能性がある。ただ、陸上競技場には照明設備の問題などもあり、そのあたりも課題になってくると思う。

保護者の協力も必要になってくる。

スクールバスの話もあったが調整の難しさがある。

(委員)

行政で、開始時刻に合わせて送迎してくれるといいが。

(委員)

送迎まで含めて考えると、委託費用など経費面の課題がある。

国は、地方もこのような現状まで想定しているのか疑問である。

(委員)

都会と湯沢市では状況が異なる。電車も使えない。

帰りについては保護者送迎で対応できると思う。

(委員)

スクールバスでの送迎は実際に厳しいか。

(委員)

現在のスクールバスは、仮に 16:30 の活動開始という場合、生徒の下校時間と重なってしまう。スクールバスの本来の目的が学校への登下校の送迎になる。部活動の開始時間に合わせて新たに運行するとなると、車両を増やすことも含めて現実的には難しい状況である。

(委員)

開始時間については、やはり早い時間帯であれば生徒の移動手段について行政にも検討していただきたい。ただ、終了後の迎えについては保護者が対応することになると思うので、その点は協力していく必要があると思う。

(司会)

平日の地域クラブ活動を進めるためには、まずは指導者の確保が前提になる。また、活動場所を確保し、その場所まで安全に移動できること、さらに子どもたちの健康面への配慮も重要なポイントになると感じている。

そのためには、保護者の皆さんに理解していただくことも必要。競技ごとの説明会や動画配信など、さまざまな方法も検討していかなければならないと考えている。

最後に委員の皆様から一言ずついただく前に、「これは大切だ」という視点があればご意見をいただきたい。

(委員)

例えば水泳だが、以前から民間のスイミングクラブで活動しており、学校代表としてそれなりに成績も上げてきている。すべての競技で同じようにできるわけではないが、民間クラブの運営方法などは参考になる部分が多いと思う。

(委員)

私自身も、平日の地域クラブ活動は週2日から3日程度が現実的ではないかと考えている。現在の学校部活動は週4日程度実施しているが、これをそのまま地域クラブに移行すると、指導者も保護者も子どもたちも負担が非常に大きくなると思う。

そのため、例えば週2日に制限することも検討する必要があると考えている。一方で、競技志向のクラブでは練習不足への懸念も出てくると思う。

行政としても、週4日の活動をそのまま地域クラブで実施するのは難しいという認識。活動日数については今後も協議を重ねていきたい。

(委員)

スポーツはオフシーズンとハイシーズンがあるため考慮が必要だと思う。

(委員)

参考にさせていただきたい。

(司会)

運動部にはハイシーズンなど競技ごとの特性があるということを感じた。平日の活動を進めていく上では、そういった部分も関わってくるのではないかなと思う。

それでは最後に、お一人ずつ、今回の意見交換を踏まえた感想や行政に考えてもらいたいことなどを一言ずついただきたい。

(委員)

いろいろな立場の方のお話を聞くことができ、大変参考になった。

一つ気になった点として、今回は運動部活動について話をしているが、今後は文化部との兼ね合いも考えていく必要があるのではないかなと思った。

例えば、運動部は週2日、文化部は週4日というような形になると、また別の課題も出てく

るのではないかと感じた。

何度も申し上げている通り、やはり一番大切なのは子どもたちの思い。子どもたちが地域の中でも活動したい、スポーツを続けたいと思った時に、それを支えられる環境を整えていくことが大切だと思う。

(委員)

私は昨年度、野球の監督をしており、指導者としては2～3年ほど関わってきた。

その中で、16時から16時半頃に練習を開始していた。そのため、自分自身は15時頃には仕事を切り上げて準備をし、子どもたちを集めて練習を行うという形でやっていた。ただ、やはり仕事との両立は難しい部分があった。練習が終わった後に会社へ戻って仕事をするということも実際にあった。こうしたことができる指導者がたくさんいれば解決する部分もあると思うが、現実にはなかなか難しいと思う。

そのため、指導者だけに負担を求めるのではなく、行政による支援や移動面でのサポートなど、別の形でバックアップが必要だと感じている。

子どもたちが活動できる環境をつくるのは大人。大人側がどれだけ覚悟をもって取り組めるかが大切だと思う。

(委員)

まず、活動できる環境という意味では、少しずつ体制が整ってきていることを実感した。

今後、子どもたちが自分たちのやりたいスポーツを続けられる受け皿となる環境を我々もしっかり整えていく必要があると思う。また、総合型スポーツクラブなど、それぞれの受け皿となる部分についても、これからさらに検討しながら支えていきたいと思う。

(委員)

皆様からさまざまな参考となるご意見をいただいたので、まずは休日の地域展開について、安定的に進めていきたいと考えている。平日の地域展開については、本日いただいたご意見を参考にしながら、教育委員会内でも検討を重ねていきたいと思う。また、皆様にもご協力いただきながら、ご意見を伺い、進めていきたいと考えている。次回は11月の開催を予定しているので、その際にはもう少し具体的な内容についてもお示ししたい。その時にも、またさまざまなご意見をいただければと思う。

(司会)

運動部門の協議については、以上で終了したいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。